

上尾支部通信

新年のご挨拶

支部長 船川喜正



皆様、新年明けましておめでとございます。旧年中は支部活動に深いご理解と多大なるご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本年も更なるご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

上尾支部も会員数が130名にならんとしており、支部活動の益々の充実が重要と考えております。支部の社会貢献活動としましては、上尾市・桶川市・伊奈町の各庁舎における月1回の行政書士相談を行っており、特に県下で上尾支部が最初に始めた「街頭無料相談会」は、市民の皆さま

んに直接呼びかけご相談をお受けする訳ですから、「身近な街の法律家」としての行政書士の本領を遺憾なく発揮でき、また行政書士の社会的地位の向上の為にいい機会でありますので、これからも継続していきたいと思っております。

広報活動としましては、年2回の支部通信の発行、相談会のポスター・チラシの配布、街頭相談会におけるポケットティッシュの配布等今年も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

今年からマイナンバー制度の運用も始まり、行政書士も高い倫理観を持って業務を行わなければならないかもしれません。コンプライアンスの精神が更に強く求められることでしょう。年2回の業務研修会も内容を吟味し、新入会員向けの研修も考慮しながら、会員の知識と資質の向上を図っていきたく思っております。

研修旅行・納涼会・忘年会等を通じて会員相互のコミュニケーション

第20号 (平成28年1月1日)

<発行元>
埼玉県行政書士会
上尾支部
支部長: 船川喜正
編集: 上尾支部
広報部

<支部事務所>
住所:
上尾市本町1-1-5
遠山ビル201号室

電話:
048-776-3367

FAX:
048-776-3764

<支部HP>
ageoshibu.main.jp/

<支部公式ブログ>
ameblo.jp
/ageoshibu/

埼玉会研修旅行



中央に荒岡会長と船川支部長

シオンを図ることによって、会員同士がお互いに声を掛け合い、話し合い、協力しあつて業務を遂行していける体制を構築していければいいと思っております。今年も申年です。猿と言いますと、「見ざる、聞かざる、言わざる」とよく言われますが、会員の皆様には、支部活動についてしっかりと観察し、積極的に情報を集め、常に提案し続けて頂きたいと思っております。

最後に会員の皆様にとつて本年が健康で充実した素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成27年9月26日(土)と27日(日)の両日、埼玉県行政書士会の研修旅行が福島県・磐梯熱海温泉の「ホテル華の湯」で開催されました。上尾支部からは8人の会員(船川喜正支部長、大森眞市副支部長、野中尚副支部長、増田好男総務部長、小河原寛子事業部副部長、石戸谷俊介理事・総務部員、荒岡克巳顧問、副支部長・田中)が参加しました。

埼玉会の研修旅行に参加する意義は、「支部を越えた交流」という点にあります。

埼玉会には23の支部がありますが、上尾支部の「23倍」の埼玉会という海原に乗り出し、「23倍」の人脈を洋々と広げていくことができるはず。それが埼玉会の研修旅行です。

ここ3年間を遡って、埼玉会の研修旅行に参加した上尾支部の方々のコメントを、埼玉会広報誌「彩の国 行政書士埼玉」から引用させていただきます。

「ペテランの方の業務内容を知りたくて参加しました。懇親会で支部を越えた交流ができて、その後も連絡を取っています。教えて頂いた業務内容を早速実践したいです」(小河原理事、

「彩の国 行政書士埼玉」130号「平成25年12月発行」

「研修旅行は、同業者と知り合うきっかけ作りとして参加しています。共通の趣味で何年間も付き合っている友達も増えました。1人でも多くの人の輪を作っていくのがビジネスの基本です。様々な行事への参加が、人脈の拡大に繋がると思っています」(大森副支部長、同136号「平成26年12月発行」)

「研修旅行は新会員の方々の参加が少ないと聞いています。確かに参加費負担はありますが、親交を深めよう、今後の交流につなげていこう、そういう強い気持ちがあれば、決してその負担も無駄にはならないと思います。参加することで仕事の突破口になるかもしれません」(野中副支部長、同142号「平成27年12月発行」)

上尾支部の研修旅行はもちろんのこと、さらに埼玉会の研修旅行にも参加して、支部を越えた交流を深めていきたいと思います。(副支部長 田中智)

夏季研修会

平成27年7月17日(金)、上尾市文化センターにおいて夏季研修会を開催しました。

研修会は二部構成とし、第一部では当支部の小河原寛子事業



夏季研修会の様子

部副部長に「正しい職務上請求書の書き方講座」と題し講義頂きました。

ご自身が埼玉会より直接学ばれた貴重な経験に基づき、具体例を交えた分かりやすい内容で、例題による作業では多くの受講者が記載不足に気付くなど、とても参考となる講義をして頂きました。

第二部では当支部の植本泰之広報部副部長に「家用車の相続手続き」と題し講義頂きました。通常の移転登録との違いや指定されている添付書類以外に用意した方が良い資料など、手続きの機微までお話し頂きました。

台風の影響もあり当日欠席者もありましたが、新入会員含め16名の上尾支部会員が受講され、より知識を深めて頂きました。

(事業部長 武藤倫雄)

支部研修旅行

平成27年9月6日(日)、毎年恒例の日帰り研修旅行が実施されました。

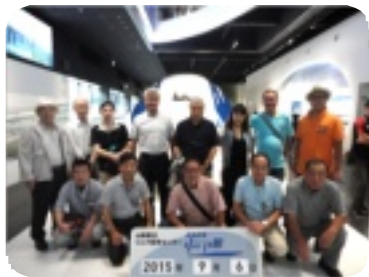
今年度は船川喜正支部長をはじめ会員13名が参加しました。

最初の目的地「山梨県立リニア見学館」では、2003年に最高時速581kmを記録した試験車両(≡XO-2)の実物展示に圧倒されました。

また、時速500kmの走行を振動で体感出来るシアター、リニア中央新幹線開通後の大型ジオラマ、リニア開発の歴史が表示された模型など、見どころが沢山ありました。このほか、2人乗りのミニリニア浮上走行体験は大変な人気で長蛇の列となっておりまして。

昼食は、甲府盆地を一望できる「幸せの丘ありあんす」で、郷土料理のほうとうを食べ放題をいただきました。

この食事処には、国宝級の象牙美術品が多数展示されている「象牙美術館」が併設されており、午後の行程までの間、見学



集合写真

をする会員、談笑する会員など、各々がゆつくりとした時間を過ごしていました。

午後からは「酒折ワイナリー」で製造工程や地下ワインセラーを見学して試飲を楽しんだ後、「信玄餅」で有名な「桔梗屋」へ向かいました。

工場見学を予定していたのですが、あまりの混雑で断念せざるを得ず、買い物だけで終わるといふ少々残念な結果になってしまいました。

当日は台風が来ていたこともあり、天候には恵まれませんでしたが、道中のバス車内は常に笑い声が絶えず、会員の親睦がより一層深まった旅行となりました。

(厚生部副部長 佐藤久美子)

行政書士広報月間

毎年10月は行政書士広報月間と定められており、全国の行政書士会や各支部でも様々な催しが開催されていますが、当支部でも毎年10月に街頭無料相談会を開催しております。相談会の開催に伴い、関係各所に依頼して準備を行いました。

7月に上尾市・桶川市・伊奈町の各市町の広報誌に広告の掲載を依頼しました。また、桶川

市役所庁舎内とJR上尾駅構内に相談会開催のポスターの掲載を依頼しました。さらに、上尾市の「ぐるっとくん」と桶川市の「べにばなGO」の各市内循環バスへの車内広告の掲載を依頼しました。

相談会開催直前には、日本行政書士会連合会から埼玉会を通して送付されたカレンダーとポスターを、県民活動総合センターや伊奈町総合センターといった公的施設等に、支部役員が手分けで掲載を依頼しました。

相談会当日には会場となったJR上尾駅自由通路において、行政書士会のマスコットキャラクターである「ユキマサくん」のロゴが入ったポケットティッシュとチラシを参加会員が配布し、支部の活動をPRしました。

(広報部長 鍵和田泰)



ユキマサくんの着ぐるみ

街頭無料相談会

県下一斉

平成27年10月10日(土)、JR上尾駅自由通路において県下一斉街頭無料相談会を開催しました。毎年10月は行政書士制度広報月間となっており、広く市民の皆さんに行政書士について知って頂く良い機会として上尾支部でも毎年、無料相談会を開催しています。

同じ日には、上尾商工会議所主催の「AGEOまちフェス2015」が上尾駅とその周辺施設で開催されており、非常に多くの方々が登場されていたので、上尾支部で用意した広報活動用のチラシやポケットティッシュも多数配布することが出来ました。

また、午前中に行政書士会マスコットキャラクターである「ユキマサくん」の着ぐるみが登場すると、子どもや女性を中心に写真撮影など更に賑わいを見せました。

この「ユキマサくん」は、埼玉県行政書士会より今回初めて無償貸与されたものです。



集合写真

相談会場のの上尾駅は、音楽イベントが目的の若い方々が比較的多かったように思います。しかし、上尾市施設や上尾市内循環バスへのポスター提示や上尾市広報、支部ブログでの事前告知の効果もあり36組42件の相談に対応しました。当日参加した支部会員は23名で、二人一組になって相談対応しましたので、一人平均3組以上の相談に対応した事になります。まだ経験の少ない会員にとっては、ベテランの会員と組む事で非常に良い経験となったのではないでしょうが。

相談内容は、やはり相続と遺言が多く全体の約8割を占めました。

市民の皆さんは、自身の抱えている問題や不安をだれに相談すれば良いのか分からずに困っています。行政書士会上尾支部では、今後も広報活動や街頭無料相談、支部事務所相談、二市一町への相談員派遣による市民貢献を通して「街の身近な法律家」を実践していきたいと思えます。

(事業部長 武藤倫雄)



あげお産業祭 無料相談会

平成27年11月7日(土)と8日(日)の2日間にわたり、あげお産業祭会場において街頭無料相談会を開催しました。

あげお産業祭の会場では、キャラクターショーの開催や市内の各団体のテントが建ち並び、たくさんの方の来場者によって大変な賑わいとなりました。

初日は天候に恵まれて多くの市民の方が相談に訪れ、一時は相談ブースが一杯になるほどでした。今回は、参加した会員が、背中に「埼玉県行政書士会」のロゴが入ったおそろいの水色のジャンパーを着て相談会に臨みました。おそろいのジャンパーによって、行政書士会の相談ブースが目立ったのと、スーツ姿よりも相談しやすい雰囲気があったようで、好評でした。

2日目は、朝から雨が激しく



集合写真

て、相談に来られる方がいらっしやるのかと心配されましたが、お昼前後から徐々に相談にみえる方が増えてきて、雨の中でもこの相談会の需要があったことを感じさせられました。

2日間の相談者の合計は40人、相談件数は49件でした。

内訳は、相続18件、遺言9件、離婚3件、贈与3件、不動産3件、親子関係1件、成年後見1件、金銭1件、土地開発1件、許認可1件、その他8件となりました。

上尾支部の会員からは、2日間で述べ30名が相談会に参加し、熱心に市民の相談に対応しました。

今回の相談の内訳を見ると、相続、遺言の相談が多いのは例年通りですが、従前の内訳には該当しない相談も多く寄せられました。市民の方々が「こんな相談もいいのかしら?」と立ち寄られることが多く、まさに街の身近な相談先として行政書士を活用していただけている実感が湧きました。そして、そのような相談に来られた方々に、適切な相談先を紹介し、そこに繋ぐことも重要な役割だと感じました。そのためにも、私たち行政書士は日々様々な情報のアンテナを張り、まず行政書士に相談して良かったと思っただけで済ませないで、改めて認識した相談会でした。

(事業部副部長 佐々木幹)

冬季研修会



中央に講師の小林英樹様

平成27年12月4日(金)、冬季研修会が上尾市コミュニティセンターにて開催されました。

今回は浦和公証センターより現役の公証人である小林英樹様を講師に招き、「離婚給付契約書の実務と要点」をテーマにお話頂きました。

講義では現役の公証人ならではの経験を生かした作成上の注意点に加え、実際にあった事例での対処の仕方を丁寧に分かりやすく教えていただき、また検事時代のエピソードも交えた有意義なお話を数多く聞くことができました。

離婚給付契約書作成自体、実際の依頼数は多くないとはいうものの、よく相談を受けるテーマであり、講師が現役の公証人ということもあって、上尾支部から28名、大宮支部から3名、

岩槻支部から4名の計35名と多くの方々にご参加いただきました。

多くの質問が寄せられ、活気が溢れるなか、あつと言つ間に2時間が過ぎて非常に充実した研修会となりました。

(事業部員 野本正敏)

忘年会

平成27年12月4日(金)、上尾市内の和食店にて忘年会が行われました。

同日に冬季研修会が開催されたこともあり、研修会から引き続き支部会員が参加し、またお招きしたご来賓の方々もいらつしやり、合わせて25名が参加されました。

ご来賓には、荒岡克巳埼玉会会長と、冬季研修会の講師をしていただいた浦和公証センターの小林英樹様のお二人をお招きしました。

料理は鰻の蒲焼をメインとした豪華なもので、十分なボリュームがありました。

忘年会は一本締めで無事終わり、来年も良い年であることを全員でお祈りしました。

(厚生部長 齊藤竜造)

新規会員向け説明会 新規会員自己紹介



説明会の様子

平成27年7月2日(木)、新規会員4人の出席のうえ、支部事務所において新規会員向けの説明会を開催しました。

まず船川支部長より支部全体の説明があり、支部活動に積極的に参加してほしい旨の話がありました。三浦経理部長からは、支部会費納入についての説明がありました。武藤事業部長からは、二市一町、街頭及び支部事務所の無料相談並びに年2回の研修会の説明があり、積極的に参加してほしい旨の話がありました。斎藤厚生部長からは、支部旅行、納涼会及び忘年会の説明がありました。鍵和田広報部長からは、年2回発行の支部通信の説明がありました。総務部長からは、定時総会資料、支部規則、人事配置図及び理事監事名簿等を基に説明がありました。(総務部長 増田好男)

新規会員の5名の方々に自己紹介、抱負などを伺いました(五十音順)。



糟谷廣一郎 会員

平成27年4月に新規会員登録を致しました糟谷廣一郎と申します。

2年前に定年退職するまでは週刊誌の企画・編集をしていました。35年ぐらいい編集に携わっていたことになりました。その経験、高齢者・障がい者福祉支援などの分野で役立てようと思えます。「対行政」の場面では、利用者や公務員とともに、よりよい仕組みを作っていくことが必要だと考えています。昔はよく北アルプス登山をしました。パラグライダーにも5年ほど熱中したことがあります。いま、南会津で蕎麦づくりをしています。



菅野真一 会員

平成27年6月15日に埼玉県行政書士会に登録となりました。新人の菅野真一と申します。

支部活動や研修を通して、良き先輩方・同期に恵まれ、良きアドバイスを貰いながら毎日励んでおります。

入管業務・相続業務に力をいれていきたいと思いますが、お客様のお力になれるよう日々勉強を重ねて参りたいと思います。笑顔と元気をモットーに、いつもお客様がお越しいただいても話しやすい事務所作りをしてまいります。どうぞよろしくお願致します。



佐藤修一 会員

初めまして。このたび埼玉県行政書士会に入会致しました佐藤修一と申します。

昭和49年生まれ、41歳の若輩者ですが、自動車販売会社に現在も勤めていることもあり、今までの経験を活かして自動車関連の業務に力を入れていきたいと思っています。

また支部活動や業務研修会を通じてその他の業務も手掛かれる、ひいては地域の皆様の頼りになれる行政書士を目指したいと思っています。スタートラインに立つたばかりですが、諸先輩方のご指導、

鞭撻を賜りたくよろしくお願致します。



新山文敏 会員

この度、行政書士登録をした新山文敏と申します。大学卒業後、経営コンサルティング会社、通信販売会社の財務・法務部門を経て、現在に至ります。

近時、IT等の科学技術の進歩は凄まじいもので、情報が即座に、コストをかけずに入手できる環境において、土業の世界の置かれている状況はますます厳しくなるものと感しています。「国民の利便に資する」ため、アンシャン・レジームの打破、新時代の行政書士像確立を夢みて邁進する所存です。宜しくお願致します。



野本正敏 会員

昨年から上尾支部に所属させて頂いていただいております野本正敏と申します。

私は家業で不動産賃貸・管理の仕事をしつつ平成21年度の行政書士試験に合格しました。

合格後、測量会社で事務職をし、その後、東京入国管理局に勤めました。やって行きたい業務はやはり入管関係を中心しつつ、建設業許可、相続、農地法許可をやって行きたいと思っています。今年の目標は昨年同様「ドラマを叩けるようになる」です。改めまして本年もよろしくお願いたします

経理部からのお願い

支部会費について、平素からご理解ご協力を賜りありがとうございます。振込時の氏名表記は、事務所名ではなく個人名が分かりやすいです。ご面倒でも個人名での入力をお願いします。

また、支部経理に対する疑問やご意見もあるかと思えますが、メール、FAX等でお受けしたいと思います。会員相互のための会費ですから、可視化を図りながら明快で伸びやかな経理としたい意向です。時として経理部から会員の皆様へ、直接連絡を差し上げることもありま

すが、相互確認の必要性からですので、ご承知おき下さい。(経理部長 三浦智)